

JKA 補助事業自己評価委員会会議録

日時	令和7年 10 月 14 日(火) 9時00分～9時40分
出席者名	① 施設長 櫻井 ② 副施設長 中野 ③ 介護職 渡部介護主任 ④ 医 務 谷川看護師 ⑤ 生活相談員 久保田
提案事項	JKA 補助事業自己評価について
決議事項	事業担当の副施設長が JKA 補助事業について説明、公益財団法人 JKA は、競輪・オートレースでの収益の一部を活用して、社会的課題の解決に取り組む社会福祉法人等に助成しており、今回特別養護老人ホームシルバースターうなまの里で活用するリフト車を導入するにあたって当該補助事業を活用した旨を説明した。次に、事業実施の経緯について、令和6年5月14日に指名競争入札を執行、宮崎トヨペット株式会社日向店が落札し、令和6年5月17日に発注、当初の計画では、令和6年度中に導入予定であったが、世界的な半導体不足により車両の生産が中断したため、令和7年度へ事業を繰り越しての実施となり、無事に令和7年9月10日に納車が完了したことを報告した。次に、事業評価の内容について、令和7年9月11日から令和7年10月10日までのリフト車の稼働状況と、法人ホームページ、美郷町広報誌及び夕刊デイリーでの広報状況を自己評価書に基づき説明した。併せて、現時点での各項目での評価点と事業の促進・阻害要因の自己分析についての説明を行った。 委員から、病院受診の送迎において車椅子及びストレッチャーが確実に固定でき利用者の安全が確保できていること、乗車及び下車においてはリフトの活用により、対応する職員の負担軽減ができていることの意見があげられた。 リフト車が効果的に活用できていることを確認し、自己評価の内容の妥当性について委員の全会一致により合意がなされた。

施設長	副施設長	相談員	事務員
			  